

支援プログラム

事業所名 放課後等デイサービス事業所きらきら

作成日 令和7年 3月 1日

事業所理念	発達のゆっくりな子どもの興味や特性、発達段階に寄り添いながら、身辺自立や基本的な体の使い方、人との関わり方などを楽しく身に付けられるようにします。子供の気持ちを受け止め「困ったら相談できる」「困ったら助けてくれる」存在となり、信頼関係を築き、安心して過ごせる環境を作ります。		
支援方針	「たのしい」「できる」を積み重ねていく中で「たいせつなじぶん」や「じぶんとみんな」を感じていく。「やってみたい」を感じる中で「将来の生活」に繋がる機会を作っていく。		
営業時間	平日・・・13時30分～17時00分	長期休暇・週末・・・8時30分～16時00分	送迎の有無 ありなし
支援内容			
健康・生活	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。普段からその日の睡眠や食事の状況について確認し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行い、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援します。また、健康な生活の基本となる食を営む力を育成に努め楽しく食事ができるよう環境を整え、日常生活や社会生活を営めるよう、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し支援を行う。		
運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、筋力の維持・強化をさまざまな遊びや活動等を通し自然と身につくよう支援を行う。 活動室のざわつきが気になる、白地のプリントが読みにくい、長時間じっとしているのが難しい、といった感覚過敏に関連する困り事について、職員・本人自身も理解し、イヤーマフやハイコントラストを活用するといった対処法を身に付けるサポートを行います。		
認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。環境から、情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動に繋げるという一連の認知過程の発達を支援します。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。認知の特性を踏まえ、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮し、支援を行います。		
言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言葉の習得、自発的な発生を促す支援を行います。話し言葉や各種の文字や記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援や、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援を行います。		
人間関係・社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊び・つもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通し、徐々に社会性の発達を支援していきます。		
家族支援	保護者様に都度相談援助を行い、少しでも、ご利用者様に寄り添いながら安心して通所してもらえる環境作りをしています。	移行支援	小中高校と連携をとり、支援級あるいは、交流級での本人の振る舞い等の支援情報の共有を行う他、卒後の進路についても必要に応じて進路情報提供を行っています。
地域支援・地域連携	学校や関係機関、必要に応じて医療機関と連携し、情報共有の他会議等を開催し、日々の支援及び個別支援計画の作成等に活用しています。	職員の質の向上	内外の研修への定期的な参加等で情報の収集及び職員のアップデートを行っています。
主な行事 その他のサービス	お誕生会・季節毎の行事（イベント）、月に1度中高生対象の土曜日活動を行っています。		